

## 2005年度 (第19回) 全国大会報告

人工知能学会第19回全国大会は6月13日(月)～17日(金)の5日間にわたり、北九州国際会議場(北九州市小倉北区)において開催された。小倉はもともと工業の町であり、会場のある港側は工業地帯の中に特に近年開発された地域である。ちょっと会場を遠ざければ小倉城周辺、門司港駅界隈など情緒豊かな見所も多いが、このちょっと遠ざかる必要が幸いしたか災いしたか、会場にとどまる参加者が例年より多いように感じられた。しかしながら、これは会議場となった施設自体が使いやすく快適であったことにも大いによる。各会議室はややゆったり目であり、attentiveな聴者も自分の仕事をしながらの参加者も居場所が容易に確保しやすい雰囲気であったと思う。なお、この会議場は開催勧誘にたいへん熱心であり、ご厚意により手厚い援助を受けることができた。以下、会議の内容を以下のように報告する。

**【招待講演】** Google社のサハミ主任研究員(Mehran Sahami, Senior Research Scientist, Google, Inc.)により、“Artificial Intelligence and Web Search”というタイトルで講演いただいた。招待講演が英語で行われるということはやや異例であるが、Webからの情報獲得は目下人工知能研究にとって最重要課題の一つであり、この分野で最大の成功者であるGoogleサーチエンジンについて語ってもらうことは若い研究者にとって良い刺激になったと思う。

**【基調講演】** 早稲田大学の後藤敏先生に「人工知能がめざすもの」というタイトルで講演いただいた。ダートマス会議から50年、人工知能の歴史を振り返り、これからめざすものを見据えるお話はシニアな世代にも特に共感深いものであったと思う。

**【AI レクチャ】** 矢入郁子氏「移動支援 RCT 研究秘話—立ち上げから商品化までの道のり—」、横尾真氏「人工知能分野におけるオークション研究」、兼岩憲氏「セマンティック Web と記述論理」の3件のレクチャをいただいた。特に矢入氏の講演は近未来チャレンジを5年間サバイバルした最初のプロジェクトに関するものであり、本講演はその記念講演である。

**【一般発表】** 一般発表は、近未来チャレンジ、オーガナイズドセッション、一般口頭発表、デジタルポスター

の四つのカテゴリにおいて行われた。発表件数は総数で290件余である。例年のことながら発表申込みを受け付ける際、該当分野の切分けは悩ましい問題である。今年は14の分野に分類し、論文募集を行った。またこの分類を基本として集められた論文数を鑑みながらセッション分けを行った。セッション分けは各研究分野の論文の多寡に応じて動的に決定すべきものであるが、論文募集時での分野分類も研究の大きな動向をうかがいながら今後とも毎年微修正を行う必要がある。

企画もののうち、近未来チャレンジは5セッション、オーガナイズドセッションは7セッションが行われた。デジタルポスター8件は例年よりやや少ない。また会場では富士通オートメーション(株)のデモ展示も行われた。

**【国際ワークショップ】** 15日からの本大会に先立ち、6月13、14日に五つの国際ワークショップが開催された。各ワークショップでは世界中から論文を募集し査読し、計69件が採択され発表された。このうちの約半数がさらに厳選され、本大会の優秀賞論文とともにLNAI(Lecture Notes in AI, Springer社)の一卷として出版される予定である。

**【表彰式】** 恒例の功績賞・功労賞、論文賞、研究会優秀賞の表彰式が行われた。功績賞は中京大学田中穂積氏、功労賞は富士通研究所の毛利友治氏とNECシステムテクノロジーの島津秀雄氏が選ばれた。例年、大会の優秀賞も併せて表彰されてきたが、今年より賞の選考には発表時の評価も加えることとなったため、大会後選考を行い人工知能学会誌上で表彰となる(今号表紙裏参照)。

**【イベント支援システム】** 大会ではイベント空間情報支援プロジェクトが行われた。参加者にはICカードが配布され、会場随所に配置されたカードリーダーにより所在・行動を把握することができた。またユーザが登録した知合い情報により人と人とのつながりをネットワーク図示で見ることができた。

**【懇親会】** 懇親会を無料にすることができたことも開催会場のご厚意である。おかげさまで近年最多の参加者数となり盛大な会となった。会半ばでは地元女性チームによる祇園太鼓のパフォーマンスが披露された。

最後に、この場を借りて大会に参加され活発な議論に加わったすべての方、大会運営に携わったすべての委員・事務局その他関係者に感謝の意を表する。

【第19回全国大会プログラム委員長 東条 敏】